



<https://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

令和4年6月



パセリなどを栽培する南小国町の佐藤竹良・千春さん夫妻(撮影/木下翔太)

JA阿蘇正職員募集中!

## 今号16ページ 主な内容

- 「JA阿蘇小国郷獣医療体制整備推進協議会」設立
- 女性部「子ども食堂」支援
- 青壮年部高森支部「SDGs直売所」設ける
- 〈生産各部会の生育・出荷・総会など〉の情報
- 3年ぶりに「JA阿蘇全体職員事業推進大会」開催  
「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.  
今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇の  
ホームページに  
アクセスできます!



## JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

# より見やすく、より親しみやすく。 JA阿蘇のホームページが、 全面リニューアル!

JA阿蘇は4月から公式ホームページ（HP）を、全面リニューアルしました。

「見やすく、親しみやすいHP」を目指して、各コンテンツを整理。スマホやタブレット端末で閲覧してもスムーズな操作が可能となり、カラフルな色調のデザインで、セキュリティ対策も強化した仕様となりました！

以前のHPはデザインやレイアウトが古くなり、イメージアップが課題であったことから、20年ぶりにリニューアル。電子商取引（EC）サイトや、JA阿蘇の直売所「四季彩いちのみや」のHPとの連携も実施。その他、最新情報やサービスの発信の他、新しいコンテンツの追加など、情報発信に注力しています。

総務部総務人事課の下田智裕課長は「JA阿蘇の顔でもあるリニューアルしたホームページを、是非たくさんの人に見て欲しい。これからも内容の充実を図り、利用者に満足されるページをさらに目指していきます」と抱負を語っていました。

<https://www.jaaso.or.jp/> または「JA阿蘇」で検索



↑リニューアルしたHPを紹介をする職員

←HPのトップページ



リニューアルした  
HPに  
アクセスできます!

## 獣医育成と確保を目的に設立 「小国郷獣医療体制整備推進協議会」



小国郷獣医療体制整備推進協議会が3月24日設立されました。同協議会は産業分野の獣医師が全国的にも少なく高齢化している中で、10年後20年後を考えて小国郷内の関係機関で獣医師を確保するのが狙いです。この取り組みは全国的にも珍しく熊本県では初めての試みとなります。協議会会長には原山寅雄組合長が選任され、原山会長は就任の挨拶で「小国郷管内の獣医師の10年後20年後を考えると、後継者がいなくなる状況が見込まれる。特に小国郷に獣医師がいなくなると、畜産農家に大きな打撃が想定される。この問題は小国郷管内だけでなく全国的な問題になってくると思う。今回の協議会設立と同様の事例は全国的に増えていくだろう。モデル事業として関係

機関と一体となって、その先駆けを小国郷から阿蘇郡域に、県域に、さらに全国へと広げて今後の課題に取り組みたい」と設立の意義を熱く述べました。

設立総会に参加した小国郷和牛改良部会の宮崎徳雄会長も「小国郷で獣医を確保しておかなければ、牛のお産の時など小国郷外から来ていたら難産時に親牛も子牛も死んでしまう場合が出てくる。そのためにも今後真剣に取り組んでいかなければならない」と同様にその意義を語りました。

現在、獣医学部がある大学は全国に17校で九州には鹿児島県と宮崎県にしかなく、2021年の国家資格合格



設立総会で挨拶する原山会長(写真上)  
設立総会の様子(写真右)

## 南小国町庁舎別館で

### JAバンクATMが稼働



南小国町庁舎別館の落成式が4月4日行われ、式典には関係者50人が出席しました。

JA阿蘇では南小国支所の閉店に伴いATM等が撤去されることになっていましたが、南小国町より本庁舎別館建設で小国郷内に有人金融店

者950人と狭き門となっています。

また、獣医師は産業動物診療分野と小動物診療分野に分かれ、産業動物医師の新規参入は低迷しており、加えて高齢化も進展、県内では獣医の半数以上が60歳以上となっています。

熊本県では昨年10月、獣医療提供の体制整備を図るための計画を策定。主な取り組みとしてインターンシップや小中高への訪問活動、学資金事業などを行うこととしています。



舗を出店している金融機関に本店やATM設置の要請があり、JA阿蘇も地域の利便性を考慮し、南小国町と肥後銀行の協力のもとJAバンクのATMを設置しました。

原山組合長は式典で「県一農協に向けJA阿蘇を残し、住み慣れた地域でこれからも生活が出来るように頑張ってください。また、この別館建設で南小国町に新しい風が届けられることを祈念し、今後も益々のご利用をお願いいたします」と祝辞を述べました。

JAバンクのATM稼働時間は、平日8時45分～19時、土曜日9時～19時、日曜・祝日は休みとなっています。(写真上はJAバンク等のATM/写真右は落成式でのテープカット)



## J A 阿蘇女性部 子育てプロジェクトイベントで 「子ども食堂事業」を支援!

J A 阿蘇女性部は3月27日、阿蘇市の阿蘇草原保全活動センターで開かれた「TWC（テレワークセンター）子育てプロジェクト第3弾！SDGs 体験活動&子ども食堂」のイベントに参加して、子ども食堂で出される弁当の食材提供や調理補助などを行い、地域と一体となったイベントを盛り上げました。

この企画は阿蘇テレワークセンターがさまざまな体験を通じて、子どもたちにSDGsへの学びを深めてもらうと開催したもので、J A 阿蘇をはじめ阿蘇中央高校や地元の企業や団体などが協力して実現しました。

今回おやつとして出されたいちごは、J A 阿蘇いちご部会の大津裕樹部会長より恋みのり100パックが贈呈されたもので、女性部の梅田泉部長は「今回、初めての支援でしたが、子供たちが阿蘇のおいしい野菜を食べる笑顔になってくれてうれしい。子どもたちの笑顔のためにお手伝いできたことに感謝しています。

J A 阿蘇女性部は、これからも活動を通じて地域との繋がりを継続していきます」と感想を語っていました。



女性部の皆さんが阿蘇の食材で作った「弁当」は、栄養も味もボリュームも…そして、何よりも愛情いっぱい♡

いちご部会の大津部会長から「恋みのり」100パックが贈呈されました!





青壮年部高森支部「SDGs」  
「地域の活性化と  
持続可能な直売所」開設

J A 阿蘇青壮年部高森支部は4月  
から（一社）高森観光推進機構と連  
携し、高森駅前近くの同事務所内に  
直売所を設けました。J A 阿蘇青壮  
年部会が直売所を設け、出荷するこ  
とは初めてのケースとなります。

この試みは農観連携事業の一環と  
して取り組むもので、直売所に出荷  
される野菜には規格外のものも含まれ  
国連の持続可能な開発目標（SDGs）  
の実現とサステイナブルな社会の推進  
を目的とした青壮年部高森支部活動の  
中で、廃棄野菜の減少や規格外野菜の  
有効利用を促す狙いがあります。

食品ロスの低減にも役立つこの取り  
組みは、SDGsの12『つくる責任つ  
かう責任』につながっています。

この時季、直売所にはキャベツや  
ブロッコリー、スナップエンドウ、  
山菜など新鮮な農産物が並んでおり、  
季節が変わればトマトやミニトマト、  
高森町の特産品ひこむらさき、トルコ  
ギキョウなどが直売所のラインナップ  
を彩ります。

直売所は開設直後から観光客や  
地元利用者に好評で、リピーターも  
増えています。

営業時間は午前9時から午後4時  
までで、野菜は100円から花は  
300円前後で販売されています。  
青壮年部高森支部担当の藤吉友也  
職員は「近くまでお出かけの際は、  
ぜひお立ち寄りください」とPRに  
努めています。



↑青壮年部高森支部盟友の  
皆さんと関係スタッフ  
←新鮮な品質と笑顔が売りの  
「直売コーナー」(藤吉職員と  
井上真希事務局長)



KIKOU.TAKAMORI

アクセスすれば、  
お得なイベント  
情報も…



↑販売されている商品には  
出品者のメッセージ等も  
添えられている  
←お洒落な外観の建物に  
「直売所」が入居！



## 生産各部会の生育・出荷・総会などの動き①

**阿蘇アスパラガス**  
販売高9億7000万円  
出荷数量810tを目指す



J A阿蘇一の宮選果場では3月下旬からアスパラガスの選果作業が行われており、朝早くから生産者がアスパラガスを持ち込む姿が見られます。同選果場では取材時（4月2日）、日量1500ケース（1ケース5kg）を遠くは関東まで出荷しています。

今年のアスパラガスは、昨年とは異なり低温の影響を受けたため、10日程度遅れての保温開始となりました。そのため、本格的な出荷開始も同様に遅れ、3月の出荷量は昨年同月比で50%と、寒さが厳しい今年を表す結果となりました。その後は朝晩の寒さも和らいだことで出荷量が順調に増加し、4月上旬には出荷最盛期を迎えました。

指導販売係の後藤真智職員は「今年の春芽については気温の低さの影響が多いが、冬場の降水量不足も少

なからず影響している」と話し、次年度以降の春芽対策が課題となりました。今後の管理では立茎作業が大きなポイントとなるため、標高の高低差がある管内を5つの地区に分けて現地検討会を行い、その地区に合った栽培管理指導を行うと同時に、良質の親木確保を生産者へ呼び掛けるとしています。

管内の作付面積は、他品目からの転換や面積拡大などにより年々伸びており、2022年産については29・8haと熊本県内の約3割を占める産地となっています。出荷は10月半ばまで続き、出荷数量810t、販売高9億7000万円を目指します。（写真上⇨春芽アスパラガスの選別をする作業員／4月2日撮影）

**野尻地区デルフィニウム**  
11月中旬まで4万本出荷予定



野尻地区では4月中旬、デルフィニウムの出荷が始まりました。地区のデルフィニウム栽培面積は約25aで生産者は2人です。田上純一さんのハウスでは週3回の収穫作業を行っています。今年から暖房設備を導入して品質向上に努めた結果、この冬の寒さにもかかわらず生育も良好で、九州地区を中心に出荷が続いています。

田上さんは、栽培のポイントが灌漑管理にあるとし「灌漑のタイミングを見極めるために、日々の管理を徹底したい」と話し、なかでも梅雨期の灌漑管理はシーズンごとに見直し、改善しているとのことでした。また、病気の発生を防ぐため、下葉と芽の整理にも取り組んでいます。その結果、出荷市場の評価も年々高まり、デルフィニウム出荷の重要な産地となっています。市場担当者からは夏場の貴重な産地であることから、今後も更なる発展が期待できると注目をされています。

今後、出荷は11月中旬まで続き、最終的には4万本の出荷を予定しています。同地区では数多くの花卉が生産されていますが、デルフィニウムは先陣を切った出荷となるため、新年度の始まりを市場に知らせる品目にもなっています。（写真上⇨デルフィニウムの生育を確認する田上さん／4月14日撮影）

**特産「ひこむらさき」**  
2万8500ケース  
販売高5300万円を目標



J A阿蘇南部なす部会では4月下旬、高森町特産の「ひこむらさき」の定植が最盛期を迎え、生産者の森田勝平さん（32）が作業に追われています。

「ひこむらさき」は、15年以上前から高森地区の特産品として導入された品種で、果肉がとてやわらかく、果物のようにそのまま食べられることが特徴です。また、調理しても他の野菜類に色移りしない仕上がりと、なるため調理しやすいナスとして、年々市場や消費地の評価が高まっています。東京などの大都市圏での販売にも力を入れており、知名度も上昇中です。

指導販売係の藤吉友也職員は（取材時）「朝晩はまだ寒く、日中は高温になることもあるので、天候に合わせて作業を行ってほしい」と注意を呼びかけていました。

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き②

※前ページより続く

同部会では、天敵昆虫を取り入れた防除体系の確立を目指し、現在、防除ローテーションに取り組んでいます。2022年産の作付面積は約2ha、生産者は14名で2万8500ケース、5300万円の販売高を計画目標としています。出荷は5月下旬から始まっており、県内を中心に出荷されています。(前ページ写真＝定植作業をする森田勝平さん)

無人ヘリで防除散布を実演  
品質・作業効率向上に機動力

JA阿蘇は4月24日、ヤンマーヘリ&アグリ(株)と共同で無人ヘリコプターによる作物防除散布実演会を実施。管内の農事組合法人や関係者ら約30名が参加しました。

無人ヘリによる防除時間の目安は1haあたり4分間と短時間で終われることや、1回あたりの散布面積が広いことが大きなメリットです。

昨年、阿蘇管内では早期の梅雨入りとなったため、大麦は適期の刈り取りが出来ず、過去に例のない赤カビ被害が発生。等級格付けの低下により生産者の収入減の大きな要因となり、水稲でもいもち病の発生による品質低下が課題となりました。このような経緯から、本年から積極的

に防除に取り組むことになりました。また農事組合法人の設立増加で請負作業が増加していることもあり、ドローンと無人ヘリ使用による防除作業の効率性や防除効果の違いにも関心が集まっていることから、今回の実演会が注視されました。当日、防除散布実演は水を使って行われました。実演会に参加した法人の代表者は「限られた日数の中で数多くの圃場を防除しなければならぬ。多くの組合員の圃場を請け負っているため、徹底したスケジュールと作業管理が必要になってくる。今回の実演会は今後、導入するために大いに参考になった」と感想を話していました。

←圃場で実際に防除散布している飛行の様子  
↓無人ヘリ防除の効率性や概要の説明を聞く参加者



「ひと・いえ・くるま」の保障点検活動を行っております。  
**私たちJA阿蘇の新任ライフアドバイザー(LA)です。**

日頃よりJA共済をご利用いただき、ありがとうございます。JA共済では、組合員、利用者をはじめ、地域社会に住む皆様のくらしのパートナーとして「安心」と「満足」をおとどけております。

阿蘇町ブロック



大津 裕美



勝木久美子



浅久野美雪



北部ブロック



清高 直樹

南部Aブロック



古澤 勝己

南部Bブロック



工藤 智宏

# 「JA阿蘇きらり★」

今、ゴルフにハマってます！

営農部南部営農センター園芸課指導販売係兼TAC補佐

ありま ひろと  
**有馬 弘人**  
(28)



★趣味  
趣味はゴルフで、良いスコアを出せるように練習しています。

★一言コメント

入組7年目になります。南部野菜センターでミニトマト・花などの販売担当をしています。今年からTACの補佐を任命されたので、圃場等に伺った際は気軽に声を掛けてください。よろしくお願ひ致します。

## 野菜の中でもトップクラスの栄養豊富な野菜「パセリ」

### 「働ける事がありがたい！」 表紙の生産者 佐藤竹良・千春さん夫妻

佐藤竹良さん・千春さん夫妻(南小国町扇)は、パセリ・ほうれんそう・しゅんぎく・水稻の栽培をしています。パセリ栽培は始めて20年になります。現在、佐藤さんはJA阿蘇小国郷パセリ部会の部会長をしています。

パセリは高い年は1箱(5kg)2万円程の値を付け、年平均でも7千円前後と高価な野菜でしたが、コロナ禍の影響により宴会や飲食店の営業自粛、イベント等の中止・縮小により価格も低迷、厳しい年が続きましたが、去年は徐々に単価を取り戻し年間平均6千円程まで回復してきました。

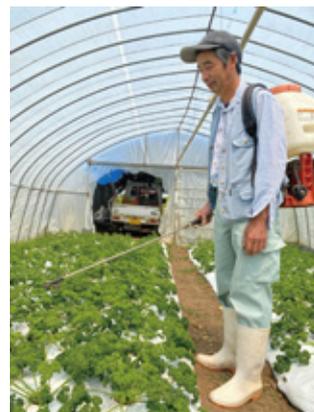
パセリ栽培で工夫している点は、数年前までは苗を育苗箱で育て定植していましたが、最近では直播して少しでも手間を省くようにしています。その結果、直播の方が根の張りが良く、生育が良いそうです。

パセリには鉄分やカリウムがたくさん含まれており、カリウムの作用で人体の塩分を尿とともに排出することにより、むくみや高血圧予防に効果があることが分かっており、野菜の中でもトップクラスの栄養豊富な野菜とされています。

佐藤千春さんおすすめのパセリの食べ方は、レンジで乾燥させ粉末にしてタルタルソースにまぶすとニオイも気にならず食べやすいそうです。乾燥させることで長期保存が出来るいろいろな料理にも使えるそうです。

佐藤さんは、イノシシやシカがハウスに入って作物に被害を及ぼすため、免許を取り毎年20頭程を駆除しています。

休日には家族旅行やお孫さんのサッカーの応援が楽しみだそうで、「今後も少しでも反収を上げて、作物に病気が出ないように早期防除・収穫を心掛け品質向上を目指したい。体に気を付けながら、働ける事の有難さを大切に思いながら夫婦2人でこれからも頑張っていきたい」と話して頂きました。(写真=パセリの手入れをする佐藤さん夫妻)





**JA阿蘇全体職員事業推進大会**  
**「持続可能な生産基盤・組織基盤の確立」など**  
**令和4年度推進目標6項目を確認**

JA阿蘇は令和4年度事業目標の達成に向け5月21日、全体職員事業推進大会を阿蘇市体育館で開き、役員ら約340名が参加しました。

同推進大会は新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりました。

原山眞雄組合長は冒頭挨拶で「令和3年度決算については組合員さんのもとより、役員員による精一杯の努力が実を結んだ結果である。本年度の目標達成に向けて全ての職員が目標に対し、気持ちをひとつにして取り組んで参りたい」と、力強く決意を述べました。

令和4年度の事業計画・推進目標については、

- ① 持続可能な生産基盤・組織基盤の確立
  - ② 地域特性に応じた推進計画の策定・活動の実践
  - ③ 農業・くらし・地域の各領域においてJAの総合事業性を最大限活かした金融仲介機能の発揮
  - ④ スケールメリットの強みを最大限に生かした仕入れ機能強化によるコスト低減の実践
  - ⑤ 不祥事未然防止の取り組み
  - ⑥ 自己改革実践サイクルの構築と実践
- の6項目を基本方針に事業活動を展開していく事を確認しました。

また、令和3年度各部門の表彰と職員資格認定証交付もあり、JA役員員一同による本年度事業目標の早期必達に向けて『がんばろう』三唱も行われ、職員により一層の強い団結を新たにしました。



↑ 参加者全員による「JA綱領」の唱和



↓ 職員資格認定書の交付



← 決意を述べる原山組合長

↓ 役員ら約340名が参加した全体職員事業推進大会会場の様子



# 令和4年度 JA阿蘇 中途採用職員募集要領

阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

- 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……………7名程度 農業関係技術職……………3名程度
- 受験資格 昭和52年4月2日以降出生の者で高等学校・専門学校・短大・大学を卒業した者。
- 受験手続
  - 提出書類
    - 履歴書（J I S規格）1通（写真付）令和4年7月12日（火）必着
    - 写真（3×4cm）1枚  
（履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入）
    - 学校成績証明書
    - 卒業証明書又は卒業見込証明書
  - 募集締切日 …… **令和4年7月12日（火）必着**
  - 応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
- 試験の日時・場所及び内容
 

【日 時】 **令和4年7月20日（水）** 午前9時15分から午後2時15分予定  
（受付：午前8時30分～9時00分）

【場 所】 阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所

【内 容】 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式  
適性検査及び小論文 面接試験
- 採用後の待遇
  - 採用時期 **令和4年10月1日（3ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります）**
  - 給 与
 

大学卒基本給……………	173,330円～
短大・専門卒基本給…	157,880円～
高校卒基本給……………	148,980円～
  - 賞 与 年2回支給
  - 昇 給 年1回
- その他 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。



## 応募書類提出及び問い合わせ先

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5  
 阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課／電話 0967-22-6111  
 担当＝下田・西村

# 令和5年度【既卒及び新規学校卒業】 高卒・専門学校・短大卒・大卒 JA阿蘇職員募集要領

1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……………10名程度 農業関係技術職……………5名程度
2. 受験資格 昭和62年4月2日以降出生の者で令和5年3月（来春）までに卒業見込みの者。
3. 受験手続
  - ①提出書類 ア. 履歴書（J I S規格）1通（写真付）
    - イ. 写真（3×4cm）1枚  
（履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入）
    - ウ. 学校成績証明書
    - エ. 卒業証明書又は卒業見込証明書
  - ②募集締切日……………令和4年7月12日（火）必着
  - ③応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
4. 試験の日時・場所及び内容
 

【日時】令和4年7月20日（水）午前9時15分から午後2時15分予定  
（受付：午前8時30分～9時00分）

【場所】阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所

【内容】基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式 適性検査及び小論文 面接試験
5. 採用後の待遇
  - ①採用時期 令和5年4月1日（3ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります）
  - ②給 与
 

大学卒基本給……………	173,330円～
短大・専門卒基本給…	157,880円～
高卒基本給……………	148,980円～
  - ③賞 与 年2回支給
  - ④昇 給 年1回
6. その他 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。

## 応募書類提出及び問い合わせ先

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5  
阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課／電話 0967-22-6111  
担当＝下田・西村



## ●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ ●●●

## ●辞令(令和4年4月22日)

氏名	新辞令	旧辞令
丸野 信壽	南部車輛センター長	西原農機車輛センター長
山内 慶三	西原農機車輛センター長	南部車輛センター長
下村 憲二	南部農機センター係	一の宮農機具センター農機係
鳴川 龍男	一の宮農機センター農機係	阿蘇町農機センター農機係
馬場 弘	南部車輛センター係	西原農機車輛センター車輛係
藤川 平政	阿蘇町農機センター農機係	南部農機センター係
横田 健生	南部農機センター係	阿蘇町農機センター農機係

## ●辞令(令和4年5月16日)

氏名	新辞令	旧辞令
岩下 悟	営農部南部営農センター農産課農産係 兼地域農業再生協議会担当	高森支所購買課高森給油所長代理
齊藤 光弘	営農部南部営農センター園芸課指導販売係 兼農産係	営農部南部営農センター園芸課指導販売係兼農産係 (西原駐在)
後藤 辰徳	営農部南部営農センター園芸課主任兼指導販売係	営農部南部営農センター園芸課指導販売係
古澤 綾乃	営農部農産課農産係兼南部営農センター精算係	営農部農産課農産係
友岡 康博	営農部南部営農センター畜産課主任	営農部南部営農センター畜産課主任兼TAC補佐
有馬 弘人	営農部南部営農センター園芸課指導販売係 兼TAC補佐	営農部南部営農センター園芸課指導販売係
鞭馬 直輝	営農部南部営農センター園芸課指導販売係 兼農産係	営農部南部営農センター園芸課指導販売係兼農産係 (西原駐在)
松尾 一馬	高森支所購買課高森給油所係	阿蘇南中央支所購買課購買係(グリーンなんごう)
稲田 薦祈	営農部南部営農センター園芸課指導販売係 兼農産係	営農部南部営農センター園芸課指導販売係兼農産係 (西原駐在)

## JA阿蘇職員として 永年勤められた退職者を表彰

JA阿蘇は4月8日、令和4年3月31日付けで定年退職を迎えた2名の退職者表彰式を本所で行いました。

入組して25年を超えて勤めあげた木下伸一さんと村上ひろみさんに、原山寅雄組合長から感謝状と記念品が贈られました。

原山組合長は、お二人の永きにわたりJA職員として組合運営に貢献された功績を称え、心より感謝の意を伝えました。表彰を受けた木下伸一さんは「振り返ると厳しい時も楽しい時もあった。定年まで勤められたのは職員や組合員の方々のおかげだ」と感慨深げな様子でした。

JA阿蘇で60歳から62歳への定年延長が導入されての新たな定年退職者となります。

尚、お二人とも嘱託職員就業制度を活用し、嘱託職員として今後も勤務が続けられます。



表彰を受けた退職者と役職員



# JA阿蘇イラスト違い探し「紫陽花の散歩道」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!

(出題:イラストレーター みやた みゆき)



## イラスト違い探し「紫陽花の散歩道」応募方法

「紫陽花の散歩道」イラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて

応募してください。正解者の中から抽選で4名様に

「小国ジャージー氷ぷりんセット」(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは、令和4年7月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



## 前号「こいのぼり」答えとプレゼント当選者5名様



=答え=

- ① 右の鳥の向き
- ② チューリップの長さ
- ③ 女の子の服
- ④ こいのぼりの目
- ⑤ お父さんの口



- 興 梶 久枝 様 (山都町)
- 岩下 富美子 様 (南阿蘇村)
- 園田 博子 様 (阿蘇市)
- 阿部 育美 様 (高森町)
- 佐藤 義己 様 (南小国町)

ハガキ (表)

869-2612

阿蘇市一の宮町官地387-5

JA阿蘇 総務部

「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面に取り上げさせていただきます)

●その他

## 理事会・監事会報告

### ■令和4年度第1回理事会

日時 令和4年4月21日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会、金融・共済専門委員会、総務専門委員会)  
3月末実績報告について

- 1) 令和4年度固定資産取得計画(案)について
- 2) 税効果会計における事業損益5ヵ年計画について
- 3) 令和3年度固定資産減損損失見込額について
- 4) 固定資産減損会計グルーピングの再見直しについて
- 5) 令和4年度産米出荷契約金設定について(案)
- 6) 令和4年度家畜導入計画及び貸付利息(案)について
- 7) 「JAバンク基本方針」の変更について(案)
- 8) 個人情報保護及び情報セキュリティ体制について(案)
- 9) 個人情報保護関連規程の改訂について(案)
- 10) 定款の変更について(案)
- 11) JA阿蘇職員募集(令和5年採用・中途採用)について(案)
- 12) 貸出金について

報告事項

- 1) 地公体貸出について
- 2) 令和3年度下期理事会附議実行報告
- 3) 不祥事未然防止策 内部監査実施状況報告書  
(令和4年1月～令和4年3月)について
- 4) 令和3年度固定資産取得実績報告について(500～1,000万円)
- 5) マネロン・反社等への対応状況について(四半期報告)
- 6) 事務ミス等の発生状況について(半期報告)
- 7) ATM利用状況について(3月末)
- 8) 令和4年ゴールデンウィークのATM稼働について
- 9) ゴールデンウィーク休業について(購買)
- 10) 購買ポイントについて
- 11) 令和3年度斎場別葬儀件数について
- 12) 「阿蘇地区農政推進大会」の開催について
- 13) 令和3年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況  
(R4年3月末) 報告について
- 14) 令和3年度不祥事未然防止のための行動計画(R4年3月末)  
報告について
- 15) 自主検査結果報告(令和4年2月)について
- 16) 「熊本県JA構想」について

4. 閉会

### ■令和4年度第2回理事会

日時 令和4年4月26日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

- 1) 令和3年度資産査定結果について
- 2) 第21回通常総代会提出議案について(第21回通常総代会資料にて)
- 3) 令和3年度事業報告及び関連事項について
- 4) 令和4年度事業計画及び関連事項等について
- 5) JA阿蘇活動総合3ヵ年計画(令和4年度～令和6年度)について
- 6) JA阿蘇本所建設計画についての固定資産取得委員会委員名簿  
(案)について

報告事項

- 1) JA阿蘇ホームページの変更について
  - 2) 金融タブレットの経緯について
4. 閉会

### ■令和4年度第3回理事会

日時 令和4年5月31日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

4月末実績報告について

- 1) 令和3年度最終決算について
- 2) 総代会開催に伴う総代に対する招集通知等について
  - ①招集通知
  - ②総会参考書類
- 3) JAグループ熊本ヘルプライン設置・運営要領の改正について(案)
- 4) 令和3年度産地パワーアップ事業  
アスパラ選果機・予冷库更新計画(案)について

報告事項

- 1) 将来収支シミュレーションについて
- 2) 令和3年度供給高・販売高実績について
- 3) 県域ローンセンター媒介業務実績(四半期報告)
- 4) JAバンク経営戦略シートについて
- 5) 高リスク先、中リスク先に対する本人確認について
- 6) 令和4年度夏の農機・自動車展示会開催について
- 7) 第21回通常総代会事前説明会の日程について
- 8) 自主検査結果報告について(3月)
- 9) JA阿蘇活動総合3ヵ年計画の令和3年度末進捗状況について

4. 閉会

### ●令和4年度第1回監事会

日時 令和4年4月8日午後1時30分

場所 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- (1) 令和3年度導入家畜等柵卸監事監査回答書について
- (2) 令和3年度決算柵卸監事監査とりまとめについて
- (3) 令和3年度決算監事監査手続きについて
- (4) 監事会規程の変更について(案)

報告事項

- ①常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ②不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書(1月～3月)
- ③行事予定について

4. 閉会

### ●令和4年度第2回監事会

日時 令和4年5月20日午前10時

場所 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- (1) 令和3年度決算監事監査とりまとめについて

報告事項

- ①常勤監事業務報告及び常勤会議等報告について
- ②みのり監査法人  
第21期監査結果概要報告書について  
(令和4年5月16日現在)
- ③行事予定について

4. 閉会

## 熊本県域JA構想④

# 熊本農業の未来を みんなで考えよう

熊本県JAグループでは、環境変化に適時・的確に対応しながら「農家・組合員の多様なニーズに、これまで以上に応えていくため」「JAの組織・経営基盤を将来にわたってより強固なものにするため」に令和2年8月より『熊本県域JA構想』の協議を進めています。

Q

営農指導事業の  
基本方針は？

A

◎県域営農指導体制を確立し、営農指導に専念できる体制を構築するとともに、営農指導員の人材育成に取り組みます。

◎多様化・高度化する農業経営のニーズに応じた経営サポートの実践に取り組むとともに、新規就農者・後継者の育成・確保や労働力の確保対策を通じて、農業生産基盤の維持・拡大に取り組みます。



Q

販売事業の  
基本方針は？

A

◎県域コントロール機能の発揮と安定供給体制の構築により、実需者ニーズに対応した販売力の強化に取り組むとともに、統一した「くまもとブランド」の確立と認知度向上に取り組みます。

◎集・出荷施設の共同利用と効率的配置、県域共同物流体制の構築に取り組み、物流コストの低減を目指すとともに、共同利用施設の改善と集出荷施設の整備に取り組み、トータルコスト低減と拠点事業の安定利用を図ります。

Q

購買事業の  
基本方針は？

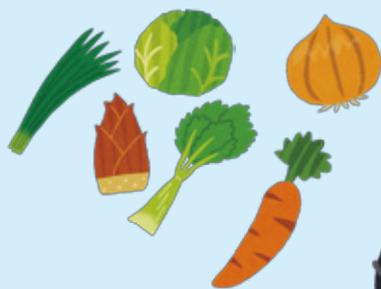
A

◎スケールメリットの強みを最大限に発揮した仕入機能の強化を通じて、そこで得られた効果を組合員へ還元し、農業者の所得向上に貢献します。

◎経営資源を最大限に活用し、地区を越えた運営体制の強化と整備に取り組みます。



※次ページに続く



### Q くらし・福祉事業の 基本方針は?

- A**
- ◎組合員組織活動の活性化による組合員基盤の強化に取り組みます。
  - ◎総合事業の強みを活かして、組合員・地域住民の生活に必要なサービスを提供することにより、豊かでくらしやすい地域社会づくりに取り組むとともに、SDGs を意識した地域の活性化に取り組みます。

### Q 信用事業の 基本方針は?

- A**
- ◎融資専任担当者を拡充し、組合員・生産者・担い手に対する相談対応力・課題解決力・融資対応力の強化を図り、農業所得の向上や地域活性化に取り組みます。
  - ◎貯金・貸出商品の県内統一やライフイベントに応じた提案活動によるサービスを拡充し、組合員・利用者の豊かなくらしの実現に取り組みます。

### Q 共済事業の 基本方針は?

- A**
- ◎組合員・利用者サービスの拡充(交通事故対応、共済金請求などの各種手続き)と利便性の向上に取り組みます。
  - ◎本所機能の集約とさらなる事務負荷軽減効果により、組合員・利用者ニーズに対応した「出向く体制の強化」と「専門性の向上」に取り組みます。

### Q 管理・企画・ 教育・広報部門の 基本方針は?

- A**
- ◎管理部門の集約や役職員の知識・ノウハウの結集による効率的かつ効果的なJA運営の実現を図るとともに、大規模化・高度化するJAのマネジメント体制の構築や、人材の育成及び情報技術の活用に取り組みます。
  - ◎組合員や地域住民から「なくてはならないJA」という信頼・共感を得るとともに、事業・組織・経営戦略目標を達成するために、「食・農・地域・JA」にかかる県域一体となった広報活動に取り組みます。

次回は、「熊本県域JAの概要」についてご紹介する予定です。

